

R-18
成人向け



少女収監史

-囚人奴隷131号のこと-

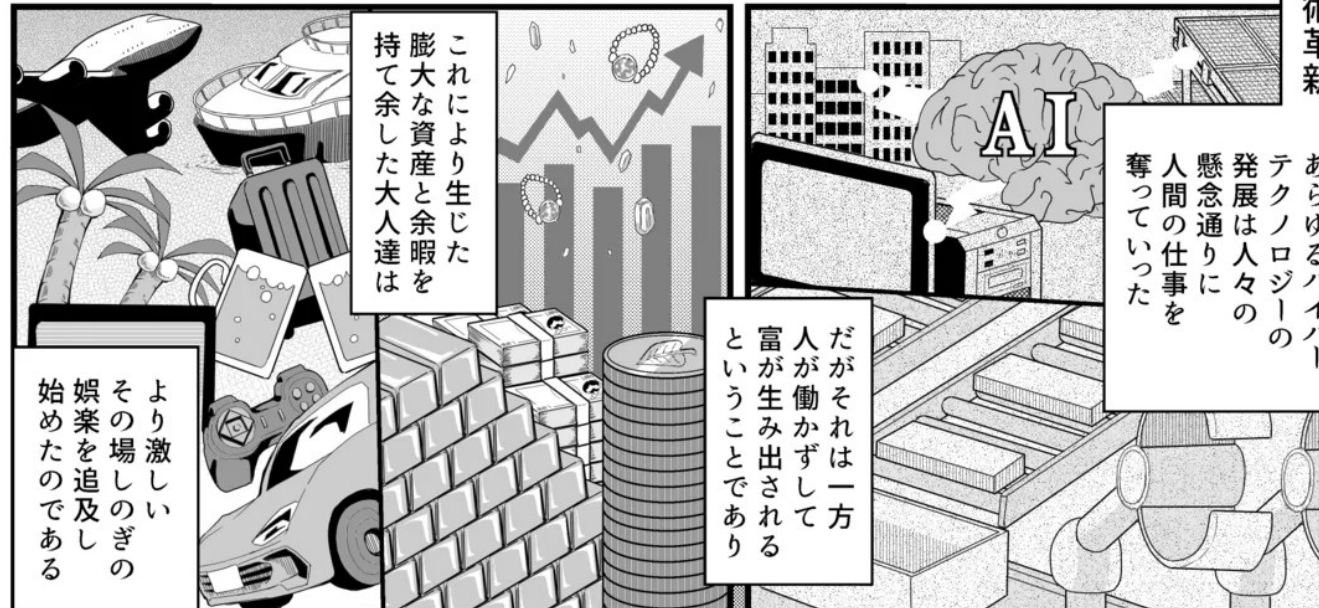
超技術革新

あらゆるハイパーテクノロジーの発展は人々の懸念通りに人間の仕事を奪っていった

だがそれは一方人が働かずして富が生み出されるということであり

これにより生じた膨大な資産と余暇を
持て余した大人達は

より激しいその場しのぎの娯楽を追及し始めたのである



その時誰もがこう思った

この娯楽を邪魔されたくない!



大人達の欲望は享樂的
社会に反する人々への
厳しい取り締まり
という方角へ向けられ

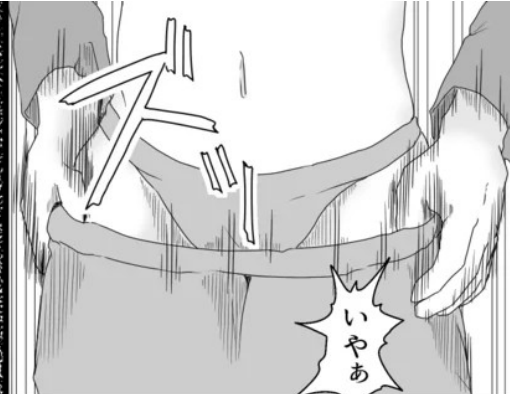
秩序ある
~~享樂~~
社会を!

従来は犯罪者とされなかつた「反享樂的」主義者達もまた

容赦なく取り締まりの対象となつたのであつた



そして――



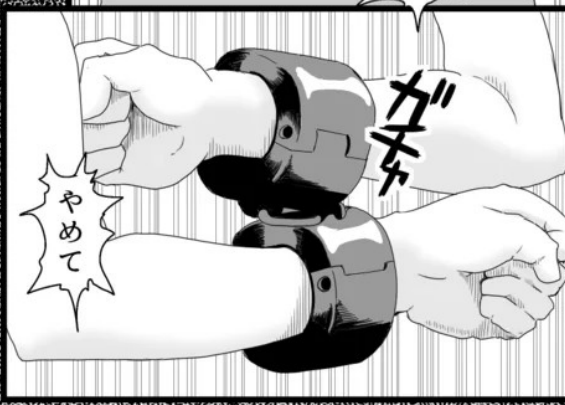
いやあ



まって

ごめんなさい

ちゃんと言われた通りにするから

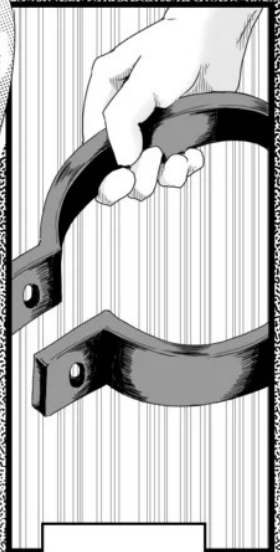


ガチ

やめて

ガチ

...



取り締まり
でさえも
享楽さの
一部と化す

そんな時代が
幕を開けた
のである

少女監収史

- 囚人奴隷131号のこと -



あいつ
反抗的だった
もんねー

「自由が
ほしい」
だなんて
言ってるさ

引きこもりに
家出ばかり
だったっけ？

大人に逆らって
ばっかいて
愛想つかされ
ちゃってね



美夢ちゃん……

自由どころか

こんなふうになつてしまうなんて……



私達子供に
娯楽は早いって
管理されてる
けどさ

それも
もうすぐの
話ってだけ

私らも大人の
仲間入りを
すればさ

社会のルール通り
好きなだけ自由も
娯楽も楽しめる
ようになる

一体何が不満
だったんだか
馬鹿な奴！

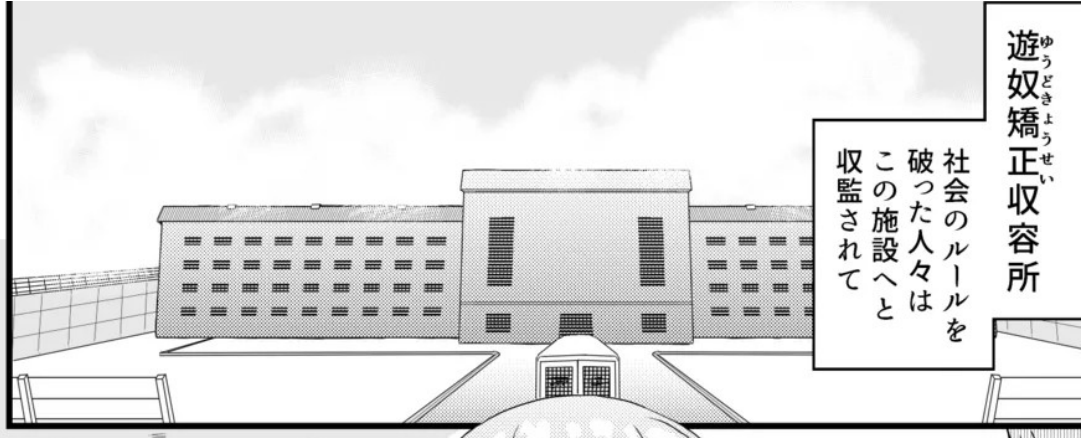


ブルブル

高等学校

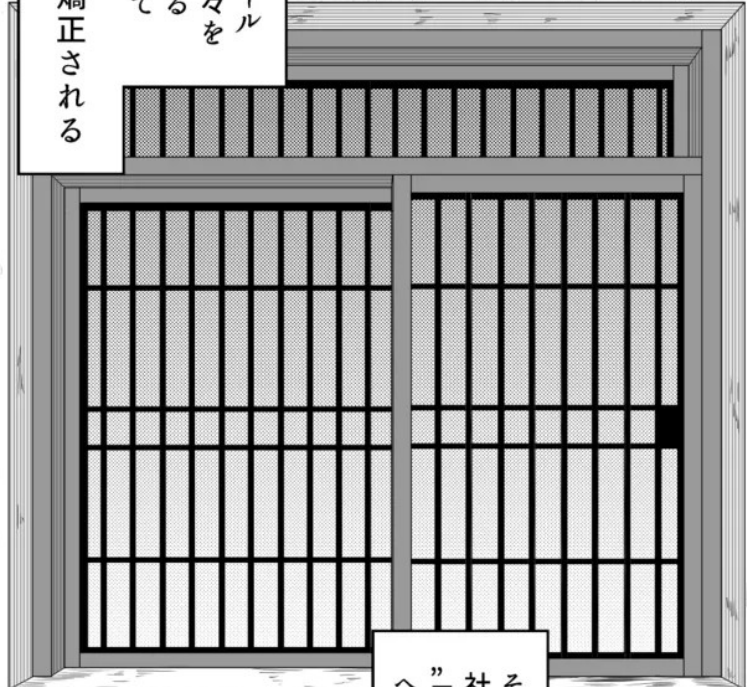
遊奴矯正收容所

社会のルールを破った人々はこの施設へと収監されて



今度はルール通りに人々を楽しませるものとして

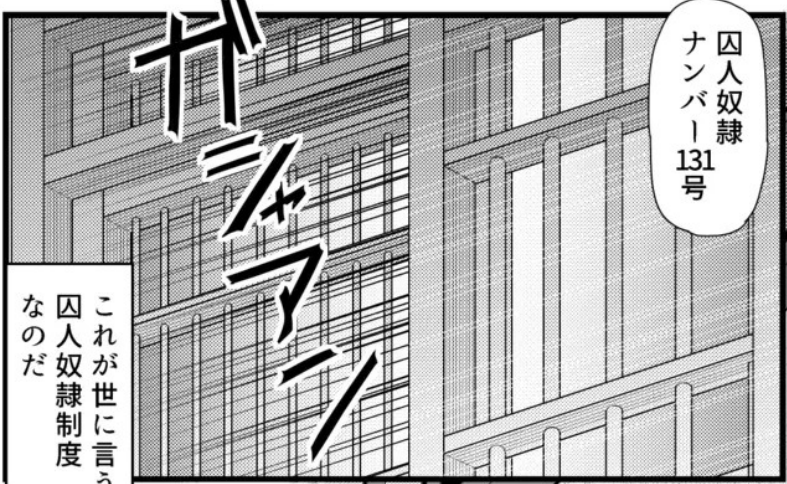
矯正される



そのようにして社会を逸脱した"元"人間を娯楽へと変貌させる



囚人奴隷
ナンバー131号



これが世に言う囚人奴隷制度なのだ

罪人である
あなた

囚人奴隷矯正
第一段階は
「学習」課程

人間社会に奉仕する
公共物としての義務が
本日課せられました

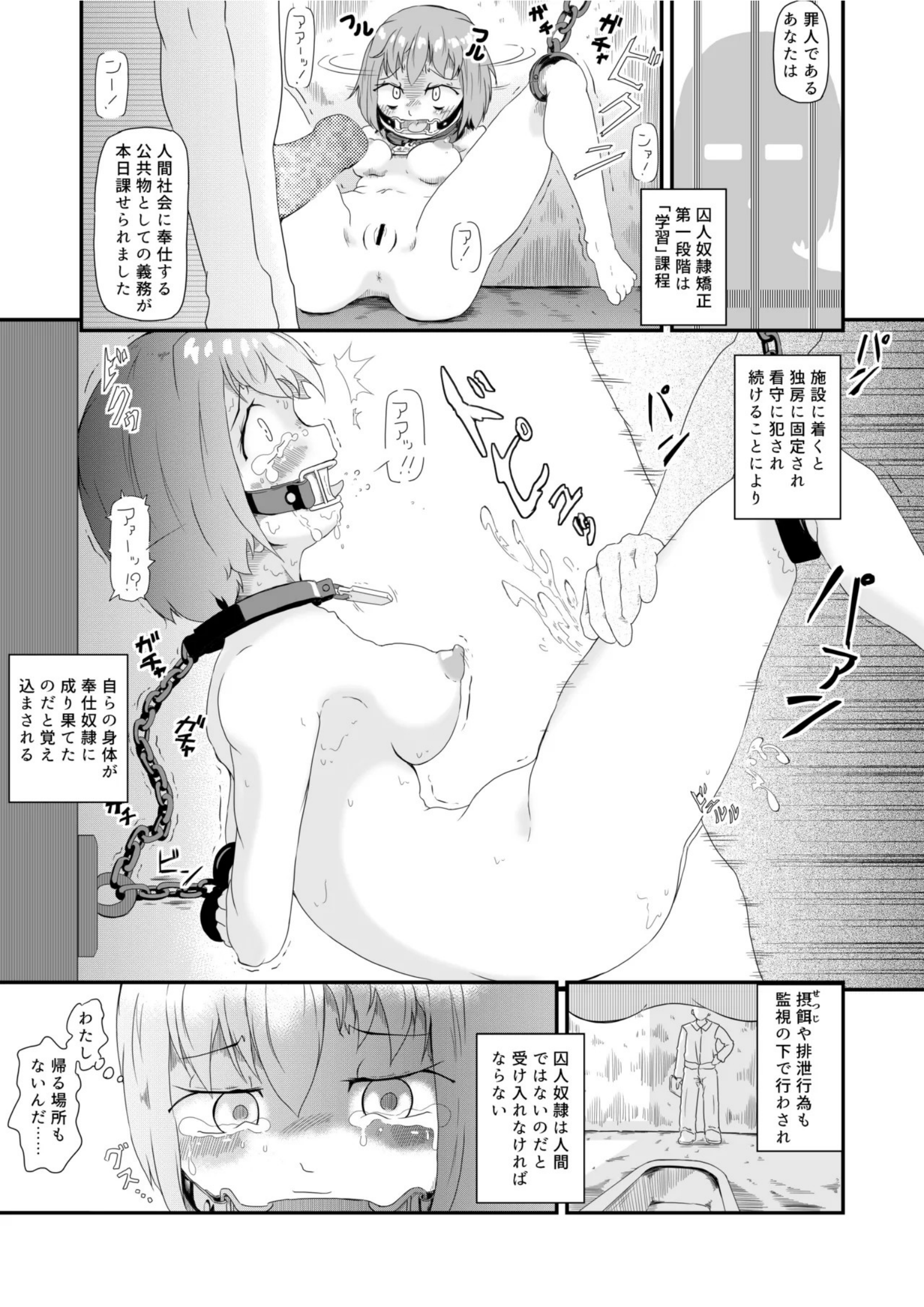
施設に着くと
独房に固定され
看守に犯され
続けることにより

自らの身体が
奉仕奴隷に
成り果てた
のだと覚え
込まれる

囚人奴隷は人間
ではないのだと
受け入れなければ
ならない

摂餌や排泄行為も
監視の下で行わされ

わたし
帰る場所も
ないんだ……

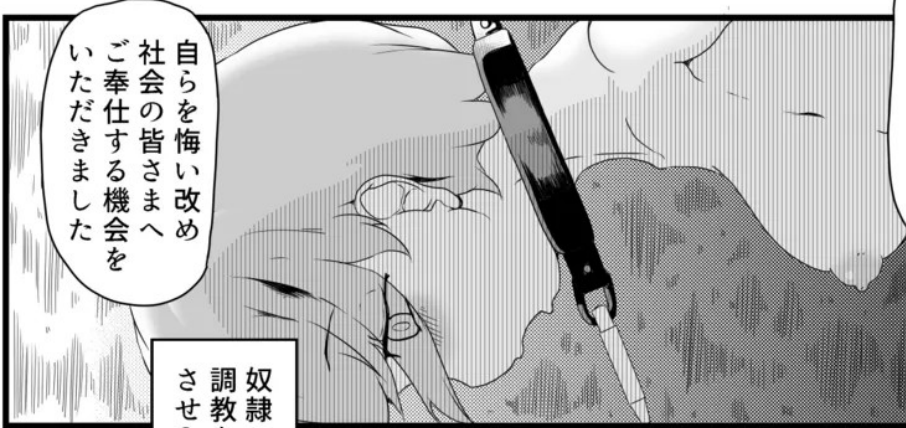


立場を身体に
覚え込んだ
囚人奴隷
第二段階は
「教育」課程

看守様

社会の秩序を
乱したわたくしは

看守の
ペニスへ
土下座を
すると

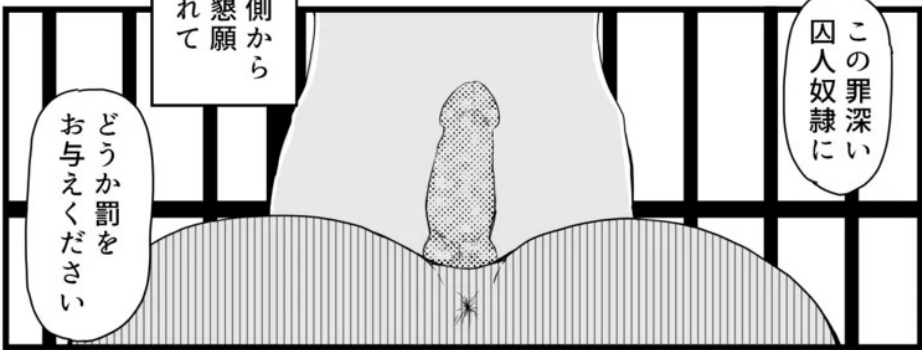


自らを悔い改め
社会の皆さまへ
ご奉仕する機会を
いただきました

奴隷の側から
調教を懇願
させられて

この罪深い
囚人奴隷に

どうか罰を
お与えください



人間に対して
心から屈服する
卑しい態度と



奉仕の仕方を
学んでゆく
のである

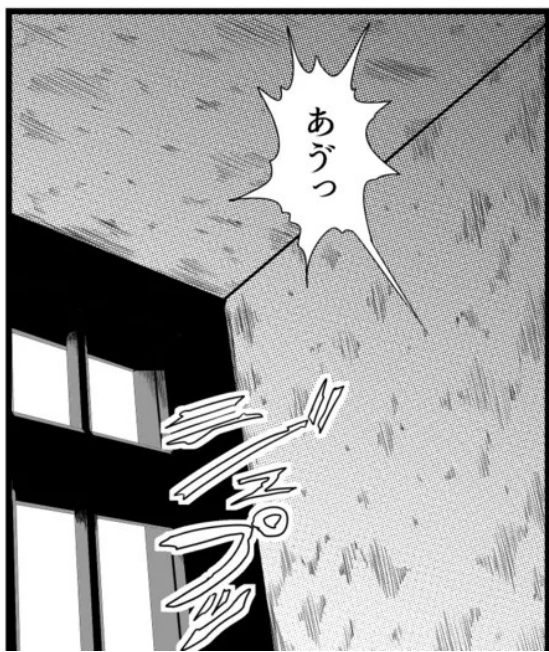
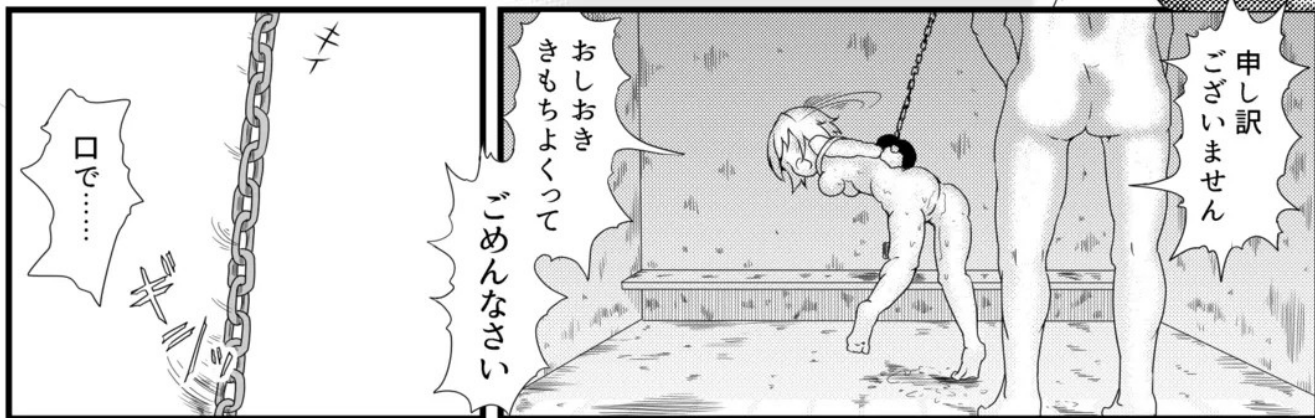
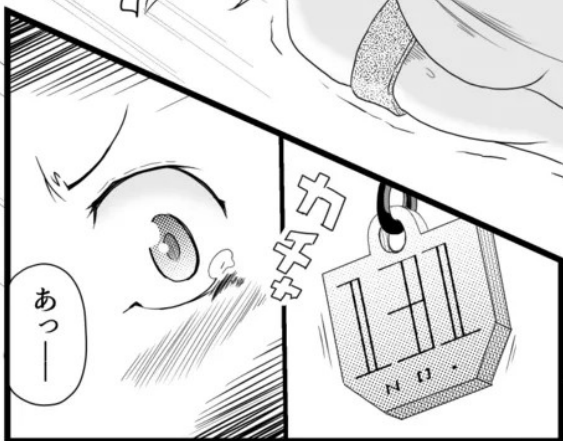
はあ！



いきますッ



ください
もつと
かどしゅ
さき

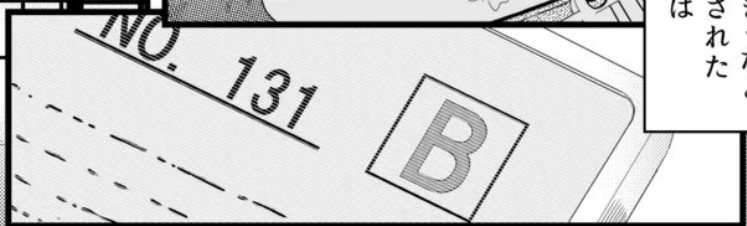


教育課程を
経ること
心身ともに

囚人奴隷に
なりきったと
評価された
個体は

出荷前に
大部屋へと
移されて

最終的な
調整を
施される



いやあつ

大部屋には多くの
囚人奴隷が収容
されているため

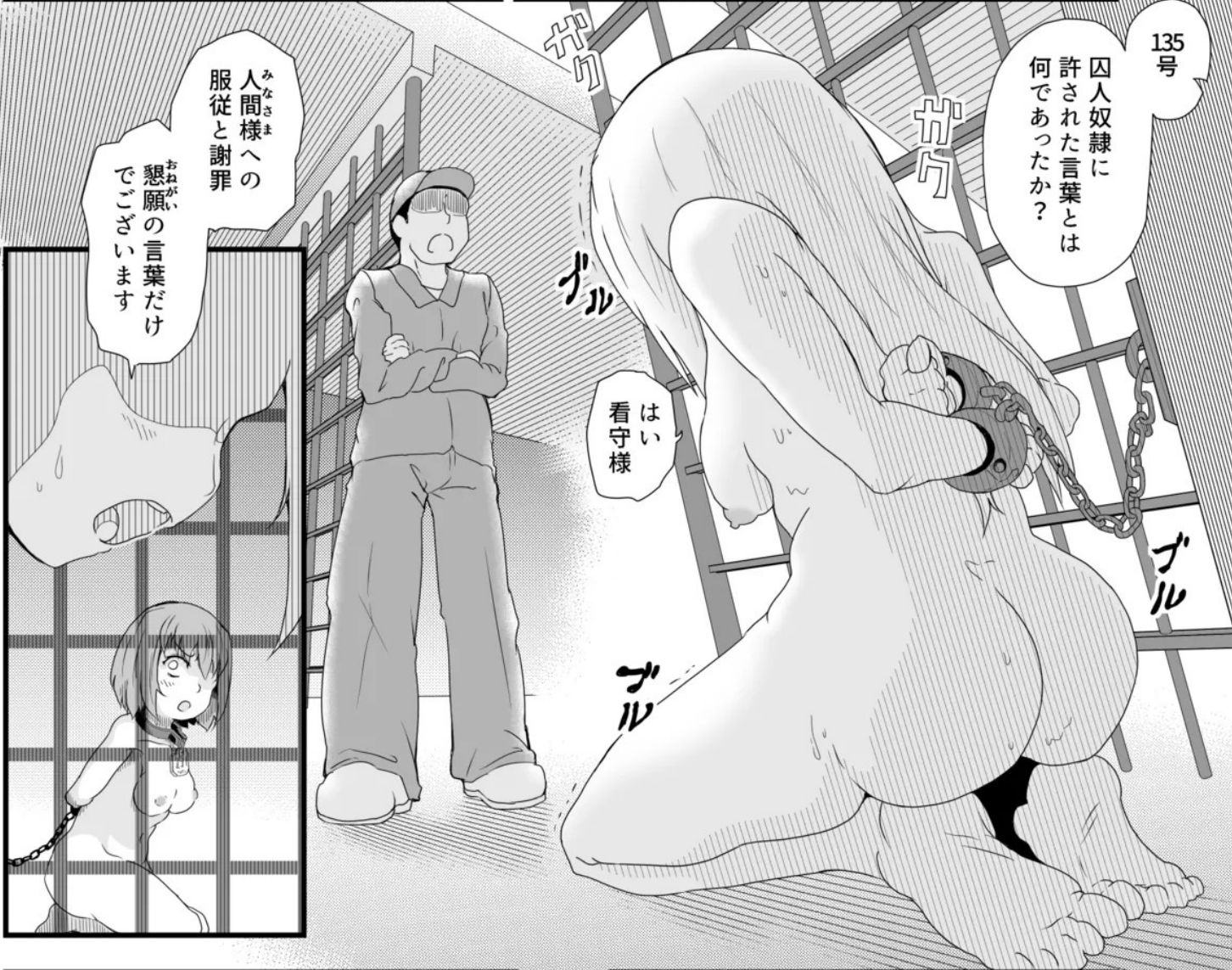
収監以来独房で
教育され続けて
きた個体を

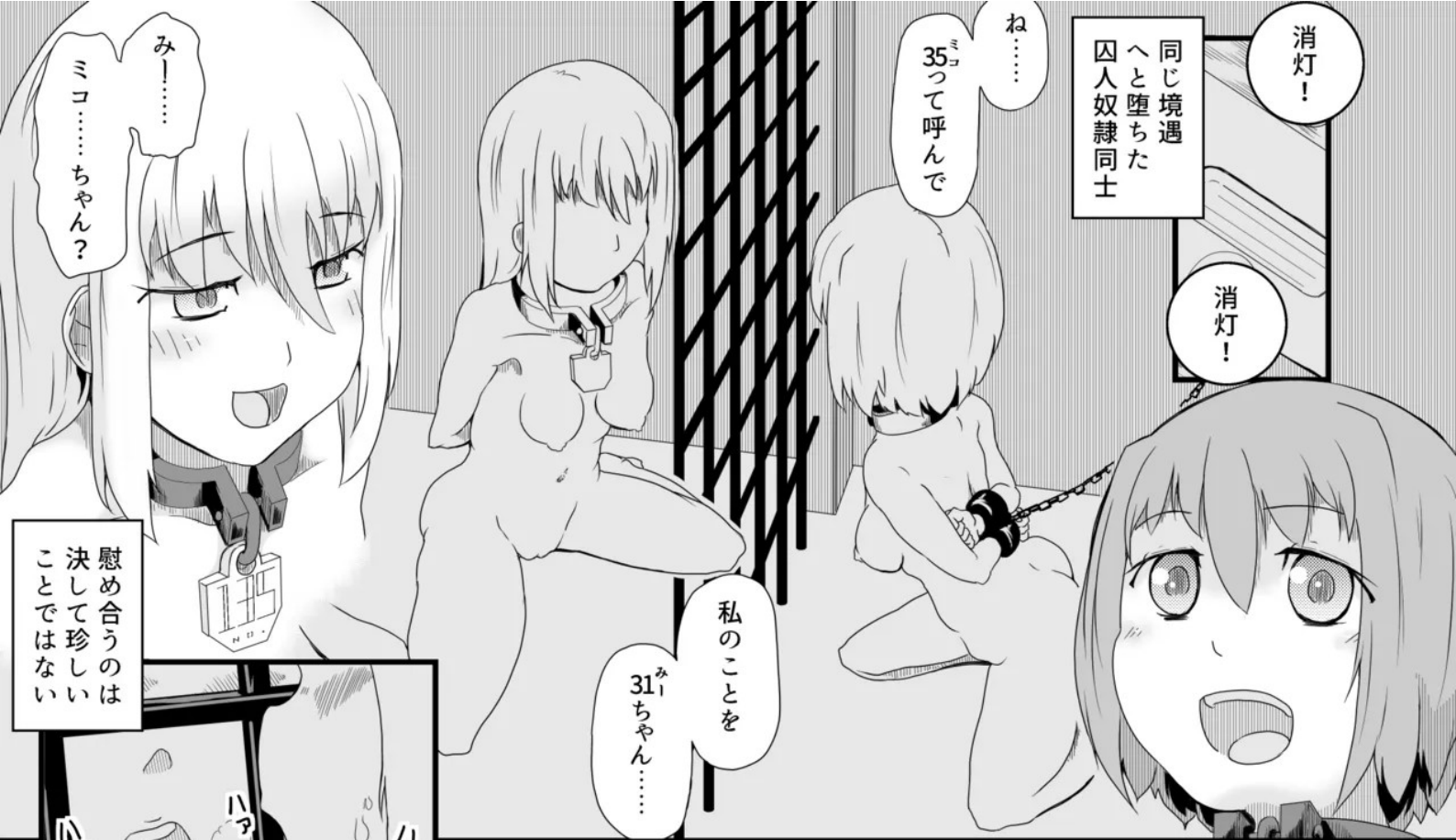
他の囚人奴隷
個体に慣らして
おくという
目的もある

懲罰はつ

もう看守様に
絶対逆らい
ませんから
どうか







消灯!

同じ境遇
へと堕ちた
囚人奴隷同士

消灯!

ね……

35^{ミコ}って呼んで

私のことを

31^みちゃん……

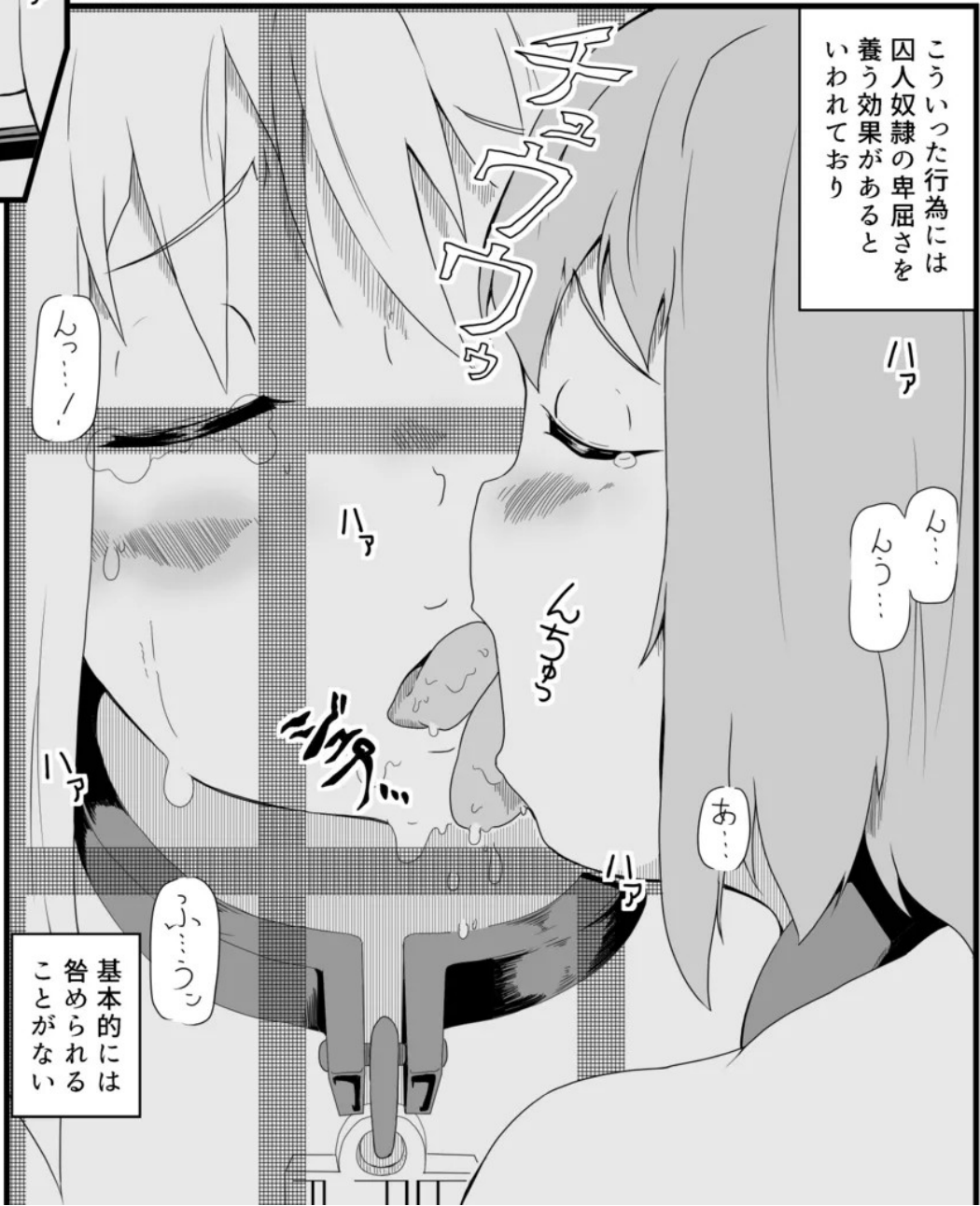
み……

ミコ……ちゃん?

慰め合うのは
決して珍しい
ことではない



こういった行為には
囚人奴隷の卑屈さを
養う効果があると
いわれており



ハア

ん……
ん……

あ……

ハア

チユウウウウ

ハア

ハア

ん……!

ハア

ふ……うん

基本的には
咎められる
ことがない

いずれにしても
これまで見てきた
通りの過程をもつて

131号

及び135号

ガチキ

囚人奴隷とは
育成されてゆく
ものなのである

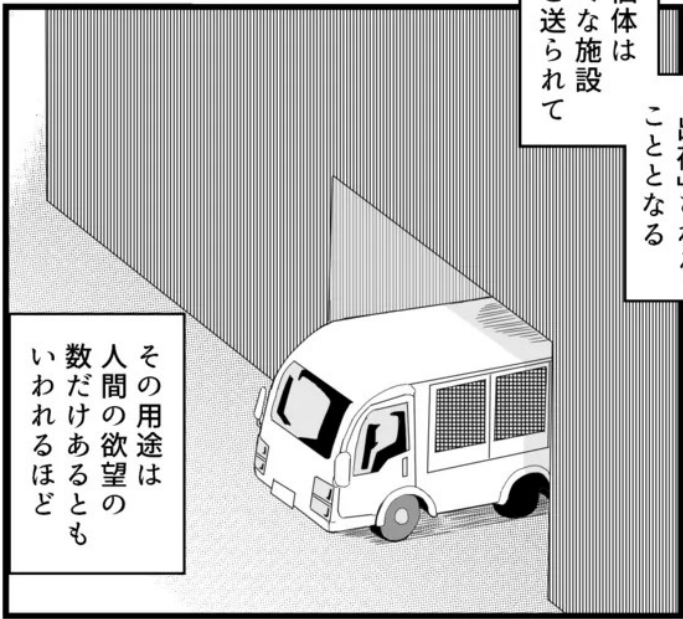
出る

收容所での
全矯正過程が
完了して後に



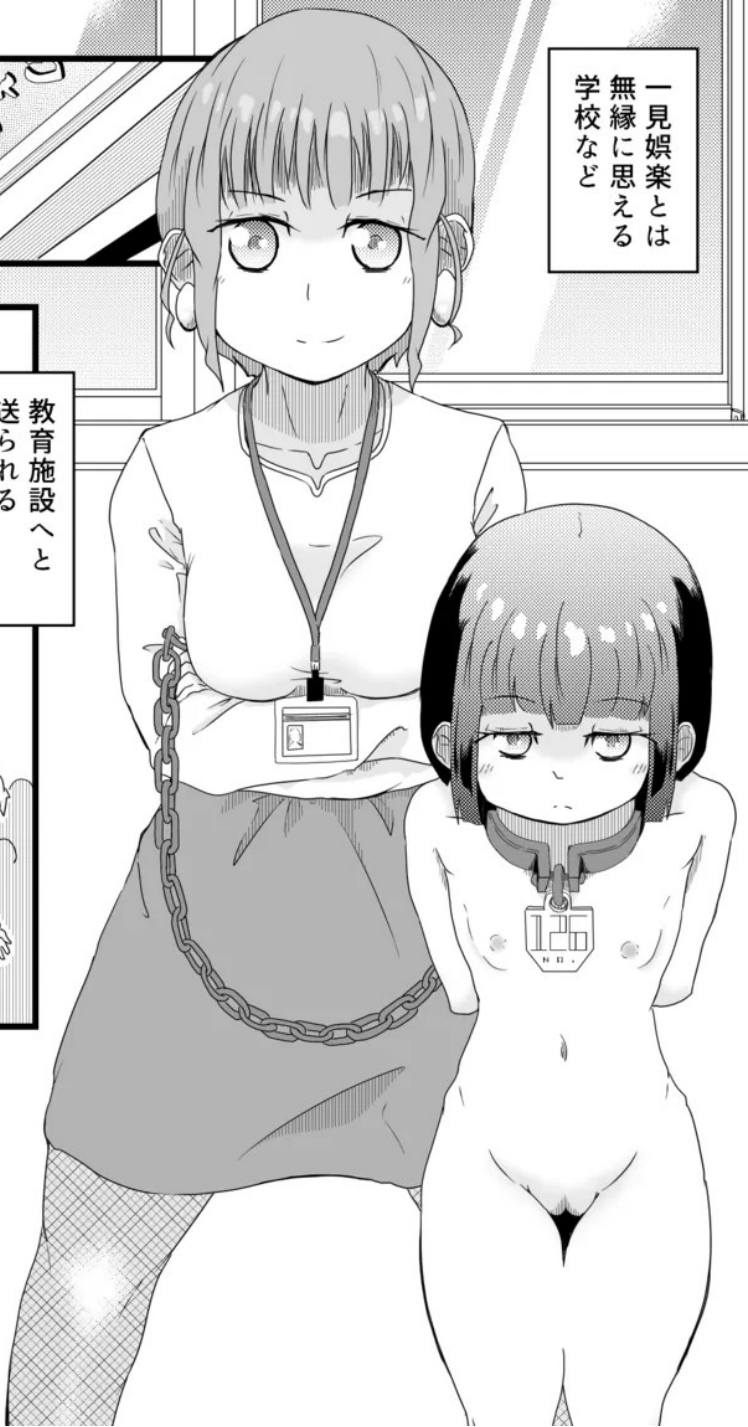
いよいよ
囚人奴隷は
「出荷」される
こととなる

各個体は
様々な施設
へと送られて



その用途は
人間の欲望の
数だけあるとも
いわれるほど

一見娯楽とは
無縁に思える
学校など



教育施設へと
送られる
囚人奴隷個体も
また存在する



……

私たちは奴隷の
分際でありながら
社会の取り決めに
逆らつて



みなさま
人間様を
惑わせました
薄汚い罪人です

これは出荷後の
囚人奴隷に
課せられた
公開調教が

このたび卑しくも
罪を償いご奉仕する
機会を与えて
いただきました

わたくしたち
罪深い囚人奴隷の

大人社会を
拒否した者達の
末路を示す

見せしめの
役割をも
持たされている
ためである

浅ましい姿を
どうか皆さま
ご覧ください



その様にして
辱めることと
関連するものか
定かではないが

申し訳
ございません

各囚人奴隷個体が
強い屈辱感を
覚える場所へと

美夢ちゃん……？

さあ
しつけを
始めるわよ

送られる
ことが
多いようだ

申し訳
ございません



囚人奴隷
收容教室

当然でしょう

私たちはもう
人間じゃない

使って楽しい
娯楽品なのよ

遊ばれる玩具の
気持ちなんて

あなた考えた
ことあるの

そんな……!

世の中
そうだわ

口で言うほど
他人の気持ち
なんてもの……

けど大丈夫

最低限生き物とは
扱われるんだし

しっかり媚びれば
ちゃんと可愛がって
もらえるから
私は
寝るわ

嫌あ……

ミコちゃん……

大丈夫よ
みーちゃん

ミコちゃん……

みーちゃん……

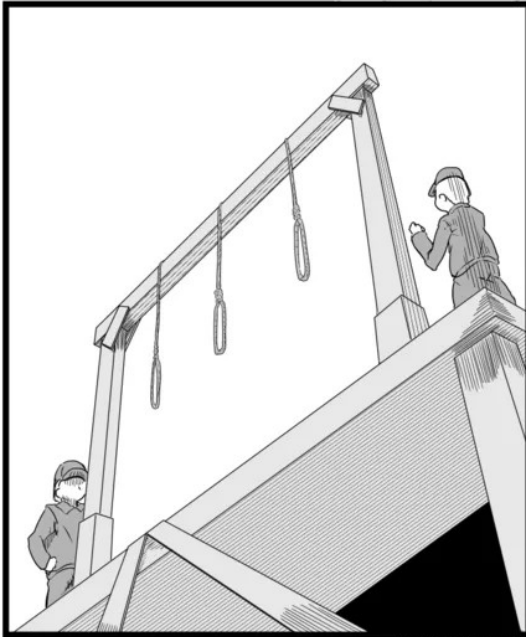
名前なんか
つけ合って

お花畑……

全校の皆さんは
中庭へ集合を
してください

繰り返します
……

本日の集会は
全校生徒の参加が
義務付けられて
います



殺されや
しないわ



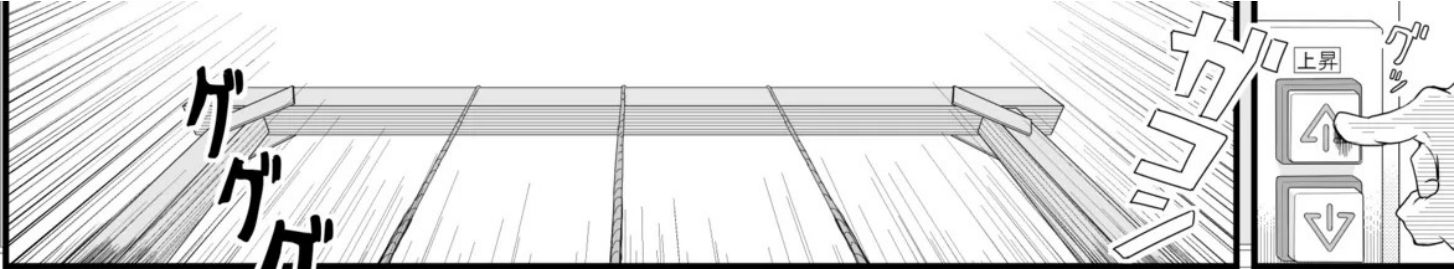
ただの懲罰

手早く済ませて
しましましょう

ちよ……懲罰!?

ぐす……

ひゅ……



囚人奴隷
懲罰法

公開首吊刑



以上
見てきた
通りに

みーちゃん……
苦しくなかった？

囚人奴隷
収容教室

囚人奴隷は
出荷されて
後にも

私は……
ううん

みこちゃんが
いてくれる
からって

信じてた
から……

その場所に
合わせた
各種調教を
施されてゆく

のではある
訳だが――

みーちゃん……

ね……
みこちゃん

私はみこちゃんが
こうしていてさえ
くれれば……

私はただ
みこちゃんが
こうしていて
くれれば

平気なん
だから……

さっ
ぐ

ゲ
ゲ
ゲ

そうよ……

ドキ
ン

ね……
だからいつも
みたいに
キスして……

ええ……

ん……

ん……

あ……



指導室

あなた達がお互い
慰め合うことは
施設の報告を
聞いていたけれど

仲原様！

囚人奴隷同士が
愛し合おうとまで
するとはね

申し訳ござい
ませんでした！

調教係

足りない
みたいよ
もっと打って
あげなさい

どうかお許し
ください！

あひっ

126号

二匹の状態を
報告もせず
庇おうなんて

後で私から
罰を与えます

施設で扱いを
学んできたって
いうのに

あんっ

もっと痛くして
あげないと
駄目なのかしら

痛く？
イヤッ！

けどこれに
耐えればまた
ミコちゃんと
二人で……

ちがいますっ

はい

仲原様……

ごめんなさい
白状します

愛なんかじゃない
み……131号が
欲しかったの

奴隷になって
みじめで辛くて
さみしくって

うんっ

うんっ
うんっ

セツ

奴隷同士の
交尾で慰め
合いたくて

えっ……
うんっ……

ガツ

けど施設で他の子に
手を出したがつたら
懲罰されちゃって

怖くて黙って
いたんです

愛してないから
痛いのはイヤあ

ミコちゃ……
なにいつてるの？

あんなに
優しくして

励まして
くれて

一緒に頑張ろうねって

がんばろうねって

そう……
あなた
み・こ・ちゃんを
慰みものに
使いたかったの

ぞうでじゅ……

愛だなんて
人間様の真似事
いだいませんがら

どうが
みのがじで

うんっ……
グスッ
グスッ
いいわ……なら
与えてあげる

愛しのみーちゃんに
これを使って
あなたの所有物と

調教なさい

あっ

奴隷らしく
這いつくばって
懇願すれば

ちやあんと
私たちは
叶えてあげる

どうして
ミコちゃん

ねえ
やめて

いやだあ

おねがい

押さないでっ

施設では
そういうふう
にも教わって
きたでしょう？

わっ！

グ
グ

ミコちゃ

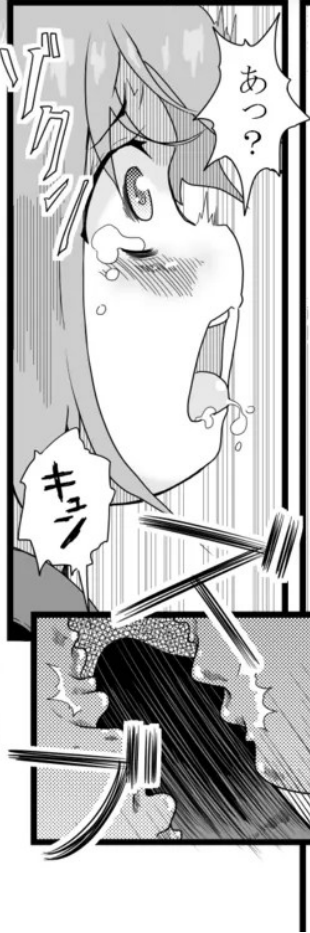
ぐぼん

あんっ



ね……気持ちよく
なってきた？
ああっ
んう！

わたしたち
囚人奴隷って
そういうもの
なんだよ
だから……



あっ？

キュン



ごめんね
みーちゃん

いや
ああ……

ぐづっ！

でも私
みーちゃん
のこと……

ゆざ

グ
グ

ズ
ズ

もう
やだ
ンツ

ねえ

や、
ゆざ





んう!
あはあああつ!?

パッ
ン

あつ!
あああつ

グッ

パッ
ン

ああつ?
ぐ……

パッ
ン

んう

んう

そんな……
おしりも
イイよお!

ガク

ガク

いやあ!

ズ

ビク

フ

ズ

ズ

ズ

ミコちゃ……
やはああんつ

ようやく
囚人奴隷が
完成したと
見なされる
ことなる
のである

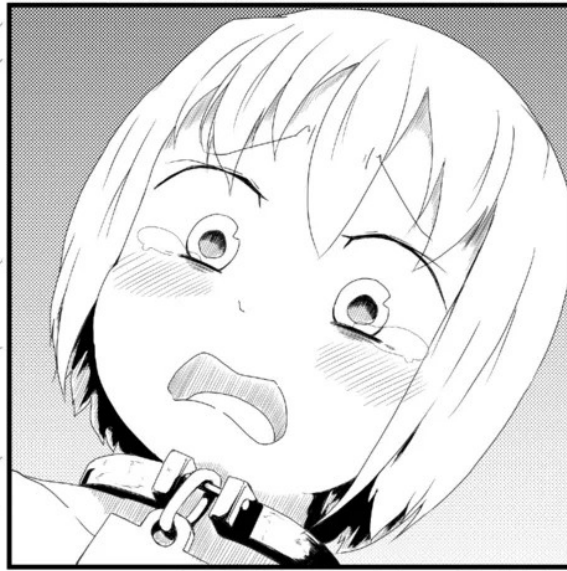
汚らしい
奴隷だった
んだね……

嬉しい……
みーちゃん

ミコちゃん
そっかあ……
私もミコちゃん
とおなじ

かつて享樂さを
拒絶した者が
自発的に
自らの欲深い姿
をさらけ出す
段階へと至った
時になって

END



- 囚人奴隷131号 -

通称みーちゃん。なんとなく現代社会に馴染めない気がして、なんとなくふらふらし続けていたら、大人達のご機嫌を損ねて囚人奴隷に墮とされる。被害者意識を持ちやすく、受け身の傾向が強い。

少女収監史 -囚人奴隷131号のこと-

発行 : めんたるえすけいぱー

著者 : ten-is

発行日 : 2025年1月31日

- ※ この物語はフィクションであり、現実にやってはならない行為であることを明記します
- ※ 本作が18歳未満の方に閲覧されないようお取り扱いください
- ※ 無断転載禁止